

●ズバリ解説

ワーク・ライフ・バランス!

社員の意欲と能力をもれなく引き出すWLB導入の手引き

(株)ライフキャリアデザイン・アソシエイツ 代表取締役 荒金 雅子

■WIN-WINな働き方を目指して

筆者がワーク・ライフ・バランスという言葉に出会ったのは、1996年に米国の人事制度を視察した際のこと。多くの企業がファミリーサポート（仕事と家庭の両立支援）からワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）へと働き方の変革を推進し成功を取っていた。それから10年、ようやく日本でもワーク・ライフ・バランスへの関心が高まりつつある。「従業員の生活の質を高め能力を最大限に発揮できるようサポートし企業の成長に活かす」という発想に基づく双方にとってメリットのある人事戦略。「働き方」をキーワードに、個人と組織のWIN-WINな関係を創る、それがワーク・ライフ・バランスである。本稿では、ワーク・ライフ・バランスの活用状況やその効果、導入のプロセスなどを解説している。優秀な人材を確保し・定着させるための施策として、ぜひワーク・ライフ・バランス施策を導入し活用してほしい。

- 1 ワーク・ライフ・バランスとは何か
- 2 ワーク・ライフ・バランスは時代の要請
- 3 ワーク・ライフ・バランス施策導入の目的
- 4 ワーク・ライフ・バランス導入の効果
- 5 ワーク・ライフ・バランスの活用状況
- 6 ワーク・ライフ・バランス導入のステップ
- 7 ワーク・ライフ・バランス成功のポイント
- 8 ワーク・ライフ・バランスの推進で企業価値を高めよう

■荒金 雅子（あらかね まさこ）

株式会社ライフキャリアデザイン・アソシエイツ代表取締役。都市計画コンサルタント会社、NPO法人理事を経て現職。能力開発、キャリア開発、組織活性化などのコンサルティングを实践。企業のビジネス戦略と働く女性の活躍推進について研究を続けている。近年のメインテーマはダイバーシティ・マネジメント（多様性を活かした人事戦略の構築）、ワーク・ライフ・バランス、「学習する組織」、ファシリテーション、女性のリーダーシップ開発である。2006年11月にダイバーシティとワーク・ライフ・バランスを推進する新会社を設立予定。

主な著書「できる人の会議に出る技術」（日本能率協会マネジメントセンター）共著

「地域リーダーカ〜女性リーダーの育ち方・育て方」（パド・ウィメンズ・オフィス）（共著）

活動：NPO法人ブレネット21専属コンサルタント NPO法人日本ファシリテーション協会会員

経営行動科学学会会員 日本キャリアデザイン学会会員 関西学院大学非常勤講師

<http://www.lcda.jp> Email: arakane@lcda.jp